

令和2年1月 28 日 10 時 00 分 ~ 12 時 00 分

司会	亀岡清泉荘 代表 松野	記録	亀岡清泉荘 代表 松野
-----------	-------------	-----------	-------------

出席者 亀岡市高齢福祉課・土川さま、南部地域包括支援センター・西村さま、南条区長・菱田さま、民生委員後藤さま、並河さま、利用者さまご家族・上野さま、長澤さま、亀岡清泉荘・岩橋、村田

欠席者 リンクス・吉川さま

1. 1月28日現在の利用者さまの状況（別紙参照）
小規模多機能ホーム登録利用者さま：26名、グループホーム登録利用者さま：9名
小規模多機能ホーム及びグループホームの利用状況、報告事項等
2. 利用者さまの地域について（別紙参照）
3. 職員体制（別紙参照）
4. 事業活動について（別紙参照）
5. 事業所内の活動について（別紙参照）
6. 今後の予定（別紙参照）
7. 小規模多機能ホーム 外部評価 意見交換
9. その他

質問・要望・助言	回答・対応
入院後、食事が食べられない状態で退院された方について、食べやすいものを提供する、環境を整えるなどで対応できるかと思う。また、生活動作の低下と本人の意思にもよるが、入院の可否についても高齢の方は検討することが必要かと思う。	退院後、少しずつ食べる練習をして食べられるようになってきている方もいらっしゃるが、食が細り衰弱される方もいらっしゃる。ご家族とも相談しながら、その方の状況に応じて、食事の提供、介助の方法なども検討していきたい。
介護記録や連絡体制などITCを活用することについて、タブレットの使用などの事例を研究していくことが今後必要になるのではないかと。また、補助金などの制度もあるので活用されてはどうか。	2月に職員の働き方改革のセミナーとITC活用のセミナーを受講するので、今後導入することを前提に検討を進めていきたい。
小規模多機能のショートステイは週何回くらいでしているのか。	夜勤者の確保の難しさもあり、固定の曜日に1回は必ず予定し、その他ご事情に合わせて2回～3回程度を入れるようにしている。
サービス担当者会議には、介護現場のスタッフも参加した方が、プラン作成の背景やプロセスが理解でき、またご家族の意見も直接聞けるなど有意義な取り組みだと思う。	常勤職員の参加を促しているが、今後もさらに参加できるスケジュールが確保できるような体制をつくっていきたい。
民生委員さんとの連携について、各地域の担当は市役所で分かる。民生委員間でそれぞれの連携もできるようになっている。	利用者さま、ご家族の了承を得ながら、各地域の民生委員の方、包括支援センターの方との連携を密にしていけるようにしたい。
地域での暮らしの支援について、包括支援センターと一緒に認知症啓発を一緒にすると良いと思う。また、包括支援センターが各地区で行う	今後包括支援センターとの連絡を密にして参加、協働していけるようにしていきたい。

<p>啓発活動に参加することも良いと思う。 地域資源は幅広く、曾我部には地区社協もあり、各区にはサロンもある。それらとの連携も考えると良いと思う。</p>	
<p>亀岡市、包括支援センターで「個別ケア会議」を開催している。地域の課題を亀岡市全体で掘り起こして検討する会議であり、地域密着型サービス及び各専門職が集まって事例研究を行っている。清泉荘の小規模、グループホームからも必要に応じて事例を出すことができれば、連携・協働の良い取り組みになると思う。</p>	<p>利用者さまとご家族が抱える課題の中で、地域課題として取り組んでもらえるような事例があれば、是非とも参加していきたい。</p>
<p>地域の消防団との連携について、南条区の消防団に清泉荘の避難経路を見てもらう、消火器の使い方の指導を受けるとか、あるいは逆に介護の方法などをお伝えするなど、良い協働の取り組みになると思う。</p>	<p>4月以降の新しい体制での消防団の分団長、各区の担当の方と話し合い、連携の機会を作っていきたい。</p>
<p>地域の問題解決について、認知症等高齢者の事前登録制度も利用が進んできて、問題解決になった事例もある。警察や包括支援センターとの連携を図る中で、清泉荘も地域の一員として行方不明者や徘徊されている高齢者などへの対応が求められていると思う。</p>	<p>送迎の経路での発見や、訪問時の利用者さま近隣の独居の方などの状況など、色々な場面で役立つ機会があると思う。今までも数件関わったケースもあるので、今後も地域の一員として貢献できるように取り組んでいきたい。</p>
<p>次回、運営推進会議は令和2年3月17日（火）10時30分～12時00分までの予定。</p>	